

# なんぶ メール

Nanbu-Mail

2014.7  
Summer

vol.6

南部病院と地域のふれあいマガジン



## これからの 小児医療のかたち

特集 1

2

ページ

横浜市小児救急拠点病院としての  
8年間で見えてきた

特集 2 6

### 南部病院医療チームに 診療看護師が誕生しました!

#### 南部病院の 理念

私たちは、医療の質の向上をめざし、常に努力します  
私たちは、患者さんの人格、意志を尊重します  
私たちは、地域の要望に対応した医療・保健・福祉サービスの充実を図ります  
私たちは、互いに信頼し、感謝する心で、働きます

#### 南部病院の 基本方針

良質な地域医療、救急医療による地域への貢献  
他の医療機関との密接な連携と、患者さん中心の医療の実践  
医療・保健・福祉サービスの総合的な提供  
地域医療関係者及び職員の相互研鑽



良質な地域医療・救急医療による地域への貢献を目指しています  
社会福祉法人 財団 済生会横浜市南部病院



特集 1

横浜市小児救急拠点病院としての  
8年間で見えてきた

# これからの 小児医療の かたち



南部病院は平成18年に横浜市の小児救急拠点病院の一つに指定され、小児科医師の増員、小児病棟の拡充などの整備を行って24時間365日の小児二次救急医療を提供してきました。

現在、小児科は14人の常勤医師と5人の非常勤医師、6人の地域連携医師（近隣クリニック院長：月1回ずつ当科救急外来診療を担当）と34床（新生児治療室、無菌治療室を含む）の病床を擁し、横浜市南部保健医療圏の小児医療の要としてその責を果たしています。



小児科主任部長  
甲斐純夫

## 小児救急 拠点病院 としての役割



救急医療は行政区分上、一次（軽症）、二次（中等症）、三次（重症）の3段階に分けられますが、特に子どもでは一次、二次の区別は困難です。発熱ひとつとっても、それが普通の風邪なのか、何か重い病気の始まりなのか、症状を的確に表現できない子どもでは判断が難しいからです。小児救急拠点病院は診療所から紹介された患者さんや救急車で搬送された二次救急患者さんを診ることが本来の役割ですが、現実には症状の軽い患者さんも、電話でお問い合わせ頂ければ随時診療しています。また毎晩、午前0時に夜間急病センターが閉まった後、翌朝9時までは全ての患者さんの受診依頼を受け入れていきます。

横浜市は、従来からある市内3つの夜間急病センター、各区の休日診療所に加えて小児救急拠点病院を整備することで、軽症から重症まで24時間いつでも医療機関を受診できる体制を構築しました。この体制により、多くの市民から安心して子育てができるようになったとの評価を頂いており、その意義は大変大きいものがあります。

## 小児科医の お仕事



小児科は子どもの総合診療科です。頻度の高い呼吸器疾患（感冒、気管支炎、肺炎、気管支喘息など）、消化器疾患（胃腸炎など）、腎・泌尿器疾患（腎盂腎炎など）、けいれんや意識障害といった神経疾患、アトピー性皮膚炎や食物アレルギーなどのアレルギー性疾患、新生児疾患などから、川崎病や血液・腫瘍性、内分泌性など比較的稀な病気まで、外傷を除くありとあらゆる病気の受診窓口となります。小児科医はそれらの病気を選び分け、たいいては主治医となつて診療しますが、専門性の高い病気であれば必要に応じてその領域の専門医師に依頼します。それは小児科の中だけでなく、内科や外科系の診療科である事もあります。

## 南部病院小児科の 専門領域



当科では血液・腫瘍を専門とする医師が最も多く、貧血や血小板減少症、また白血病などの悪性腫瘍に対する標準治療を積極的に行っています。更にアレルギー性疾患、循環器疾患の専門診療も行っています。また非常勤医師により、神経疾患、腎疾患、夜尿症の各専門外来を行っています。各々の診療の詳細については病院ホームページ（※）をご覧ください。

## 小児科医の 子育て支援



小児科医は身体の病気を診るだけではなく、子育て支援に取組んでいます。例えば予防接種はこの数年で定期接種の種類が増え、接種スケジュールが大変複雑になっています。その相談には主にかかりつけ医の先生方が親身に乘つて下さると思いますが、当科でも受け付けています。また発達・成長について両親が心配なことは沢山あるでしょうし、保育園や幼稚園、学校で集団生活が上手にできずに悩むこともあるかもしれません。そういった子どもの発達や心の問題の相談窓口として対応することも小児科医の重要な仕事です。医師がお話を聞いていくうちに解決の糸口が見つかることもありますし、ご希望があれば発達支援を専門とする療育施設や児童精神科を紹介することもできます。また脳性麻痺や重度発達遅滞などの障がいを持ったお子さん達の、病気の治療や介護者の支援（レスパイト）も適切に受け入れ、更には児童虐待への対応も積極的に進めています。

## 外部機関との 連携



もちろん南部病院の中だけで子ども達の様々な問題を解決する事はできません。常に多くの外部機関と連携を取りながら、その子にとって最も良い解決法を探っています。病気

## 小児病棟看護師の想い

当院の小児病棟で働く看護師は入院する子どもたちやそのご家族ができるだけつらい思いをしないで治療が受けられ、早く元気になって家庭に戻れるように保育士と一緒に関わっています。

季節ごとに「クリスマス会」や「夏まつり」などのイベントを行っています。行事の中では入院している子どもたちが集まってゲームをしたり、歌を歌ったりして過ごし、入院の思い出が辛く悲しいものだけにならないような時間を作っています。その時に見せる子どもたちの笑顔がとても嬉しく、私たちもその笑顔から力をもらっています。

また子どもたちは入院している間にも成長をしています。入院中もそれぞれの子どもがその子らしく成長していけるように保育士と協力し、一人ひとりに合わせた看護を行っていくことを大切にしています。

これからも、生まれたばかりで入院する新生児から、思春期(15歳まで)の子どもというように幅広い年齢に対応していくことが必要とされる中で、子どもやその家族に寄り添った看護をしていきたいと思ひます。

病棟課長 関根 美保



の治療や予防は診療所やその集まりである小児科医会・医師会。子育て支援、発達評価(健診)、虐待予防・被虐待児対応などは区の福祉保健センターや児童相談所あるいは各種NPO法人。障がい児医療は横浜市子ども青少年局や障がい児者施設等と連携をとりながら活動しています。また最近、学校給食による食物アレルギーが問題となりましたが、昨年未から港南区の小学校の先生方を対象に、食物アレルギーへの対応に関する巡回研修会も始めています。

## 小児医療の進歩



この数年で多くの予防接種が定期接種化(肺炎球菌、ヒブなど)され、任意接種のワクチン(水痘、おたふくかぜ、ロタウイルスなど)も受ける子どもが増えて、これらの感染症の患者さんがかなり減ってきました。予防接種の定期接種化は、肺炎球菌による髄膜炎で患者さんが重い後遺症を残してしまつたという、辛い経験をもつ多くの小児科医にとつて長年の夢でした。今後も任意接種のワクチンが順次定期接種になる見

## 医療から子育て支援へ



その一方で、前述したように子育てに関わる様々な心配事、発達や心の問題、児童虐待などは増加しており、それぞれきめ細かな対応が必要とされる時代になってきました。これらの問題は虐待の予防も含め、既に区役所・児童相談所や子育てサークルなどのNPO法人が盛んに活

## これからの南部病院小児科



今年度、当院産婦人科は横浜市産

動していますが、病院小児科は身体と心の両方を診ることができるといふ利点を持つており、今後積極的に関わっていく必要性を感じています。今後の拠点病院は「医療から子育て支援へ」がキーワードです。

科拠点病院の指定を受けました。これはハイリスクの分娩や産科救急患者さんを安定的に受入れるための体制であり、今後、横浜市南部保健医療圏の基幹病院としての役割を果たしてまいります。横浜市産科拠点病院の指定に伴つて低出生体重児や緊急の処置を要する新生児の出生が増えることが予想されるため、今年度内にNICU(新生児集中治療室)の整備や専門スタッフの養成など整えたうえで、来年度からはより高度の新生児医療に対応していきます。



↑クリスマス会の様子

明るく楽しいプレイルーム

## 小児救急患者数の減少



通してあり、更に子どもの感染症は減っていくものと予想されています。また、小児期の代表的な慢性疾患である気管支喘息は、新しい薬が適切に使用されるようになって管理が良くなり、特に夜間に発作を起こすことが少なくなつていきます。この感染症の減少と喘息治療の向上などの小児医療の進歩と共に、当科の救急医療の状況も少しずつ変化してきました。

拠点病院になつた頃は救急患者さんの数は年毎に増えていきましたが、平成22年頃をピークに徐々に減り始めました。ピーク時には小児救急受診患者数は年間10,000人を越え、時間外入院患者数も773人(全入院患者数の約半分)に上つていましたが、平成25年度にはそれぞれ6,117人、579人まで減りました。他の拠点病院も同様の傾向であり、横浜市全体の統計で小児救急患者数は減少しています。

また今まで述べてきた非常に幅広い小児医療・保健・福祉の領域についても、救急拠点病院であると同時に「子育て支援施設」であるという視点を持ちながら、一つひとつ取り組んでいきたいと思います。今後も市民の皆様から信頼される南部病院小児科であるように努力を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

# Massage

## 診療する上で非常に頼もしい

救急診療科主任部長 豊田洋

当院初の診療看護師として、救急診療科での研修がスタートしました。もともとICUでの勤務経験があるということで、一緒に診療するパートナーとしては最適な方だと思いました。

看護師らしく患者さんを気遣った丁寧な問診、家族への配慮は一緒に診療する上で非常に頼もしいです。症例検討会や研修医対象救急講義にも積極的に参加し、毎晩残って一日の診療の振り返りをするなど非常に熱心に研修をされています。動脈血液ガス採血、気管挿管、超音波検査など積極的に実践する姿が見られ日に日に手技が向上しているように思います。

石渡さんにあこがれて新しい看護師がたくさん南部病院に入ってくるでしょう。また、院内の看護師の中にも次に続く診療看護師をめざす人が増えたら良いと思っています。体調に気をつけて無理をせず、今後ともよろしくお願いします。

## 診療看護師として高度実践教育を受けた石渡看護師に期待

看護部長 近松 明美

患者様の状態を総合的に観察シケアを提供する看護師の視点と、キュア（治療）の両面の高度な実践教育を受けた石渡看護師は、患者さんに寄り添った判断と説明ができます。看護師としての診療補助行為の内容が広く深くなったことで、患者さんの思いや疾病に対する感覚を的確にとらえ判断でき、それを医師に伝えることでより安全で迅速な医療が提供できるのではないかと考えています。「看護計画」と「治療計画」のすり合わせが出来ることは、患者さんの医療に対する満足と、医師業務の効率化に貢献出来るのではないかと考えます。

現在、医師の監督下でなければ看護師の診療行為は認められていませんが、今後、石渡看護師の情報で医療チームのメンバーが患者の全体像を的確に把握し、専門性を十分発揮出来るような活動ができることを期待します。



に評価することができ、医師と相談しながら必要な医療行為を実施することができれば、もっとタイムリーに患者さんの状況に対応していくことができるのではないかと考えました。

——2年間の大学院ではどのような勉強をされたのですか？——

基本的な医学的知識と診療に対する考え方、医師の思考過程を学びました。先生達がどのように診断をして治療を組み立てているかといった医師の思考過程を知ること、自分

——最後に、診療看護師としての今後の決意を教えてください——

診療看護師への取り組みはまだまだスタートしたばかりで未知の部分が多く、自分がどこまでできるのか、どんな役割を担ったら良いか模索しながらの毎日です。隙間のない医療をするためのパイプ役として医師、看護師、他職種をつなぐ働きができるようになれるように思います。

患者さんの安全と安心を第一に考え、今までの看護経験も活かしながら謙虚な姿勢で診療に取り組み、看護の心と医師の思考を併せ持った診療看護師になりたいと思います。

ちは看護師としてどのようなアプローチをしていけばいいのかが分かるようになったことは大きな成果でした。

具体的には1年次は授業やトレーニングを学内で、2年次から実習で2つの病院をまわりました。実習では麻酔科、外科、救命救急、呼吸器内科をまわり、指導医と一緒に担当患者さんを受け持たせていただきました。病棟管理では、病状説明や退院の調整など「治療」と「生活」の両側面から関わることができ、とても貴重な経験をさせてもらいました。

## 南部病院医療チームに

# 診療看護師が誕生しました!



診療看護師は、専門性の程度や患者さんに対する侵襲性が比較的低い医療行為も行いながら医療サービスを提供できる

「患者を診療する事ができる看護師」のことをいいます。

南部病院に勤務している石渡智子診療看護師は、大学院で2年間の高度実践看護教育を受け、2014年4月から卒後臨床研修として

医師の包括的指示のもと、医師と協力し診察や検査、処置などの補佐をしています。

——診療看護師になろうと思ったきっかけはなんですか？——

私が診療看護師を目指そうと思ったのは、もっと医学的な知識を深め患者さんの状態をしっかりとアセスメントし判断することができれば、患者さんの訴えや苦痛に素早く応えていくことができるのではないかと考えたからです。以前ICUに勤務していた時、患者さんは人工呼吸器を外せる状態であっても、医師がいないと患者さんの苦しむ様子を見ながら何もしてあげられないことに、もどかしさを感じていました。自分が状態を的確



◆石渡診療看護師の略歴

1995年	恩賜財団済生会横浜市南部病院 入職 6東病棟(脳神経外科・眼科・耳鼻科・口腔外科)10年勤務 ICU・CCU病棟 7年勤務 呼吸療法認定士、BLS、ACLS、JPTEC
2009年	早稲田大学人間科学部 卒業
2012年	東京医療保健大学大学院入学<修士課程:クリティカル領域>
2014年	修士過程修了、診療看護師資格試験合格 4月より卒後臨床研修を救急診療科から開始

# 福祉医療相談室です

福祉医療相談室には、  
5人の医療ソーシャルワーカーがいます。

入院中・通院中の患者さんはもちろん、まだ当院にかかってはいない方や  
地域の福祉関係機関からの様々な相談に応じています。

通うのが大変になって来たけど…  
往診に来てくれる先生が  
いるのでしょうか？  
どうやって探すのかしら？

病院からかかりつけ医に  
紹介されると言われた…  
病院との関係が  
切れてしまうのでは？

相談は誰にしたら  
いいの？

療養に必要なものは  
どうやって  
揃えるのですか？

どこの病院にかかったら  
いいの？  
セカンドオピニオンって  
嫌がられないのかな？



## 主な相談内容

- ◆医療費・生活費などの経済的な相談、無料低額診療の相談
- ◆退院にあたっての、介護保険・自立支援サービスなどの在宅サービス導入や訪問診療（往診）・訪問看護等についての相談
- ◆自宅療養が難しくなってしまった場合の、療養場所に関する相談
- ◆通院することが難しくなってきた場合の相談（通院手段の検討や往診の導入等）
- ◆患者さんのご家族に関する相談（介護が必要な家族がいる、小さなお子さんがある、など）

上記のような相談に、院内スタッフだけでなく多くの関係機関の方々と  
協力しながら日々応じています。どうぞ宜しくお願い致します。

相談は  
原則予約制  
です

☎045-832-1111 (代表)

【相談時間】 月曜～金曜 9:00～17:00

## ◆◆◆ 自助具の種類 ◆◆◆



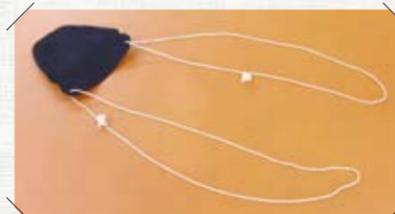
★**長柄ブラシ** 手が上げにくい方でも、頭の後ろまでブラシが届くように工夫されています。



★**リーチャー** 遠くの物をかぎ状になった先端の金具で引き寄せる用具です。洗濯機から洗濯物を取り出す際に非常に便利といわれています。



★**台付爪切り** 指先が動かない方でも片手で利用しやすいように工夫されています。



★**ソックスエイド** 腰や腕、足が曲がりにくい方でも、手元の操作で靴下をひとりで履くことができる用具です。



★**食器** 指先が動かない方や握力の弱い方でも利用しやすいように工夫されています

# リハビリテーション 技術部だより

## Self help device (セルフヘルプデバイス)

### 自助具

### ってご存知ですか？

病気や加齢により、身体に何らかの障がいをお持ちの方の自立に役立ち、介護する方の負担を減らす役割をもつ道具を総称して福祉用具と呼んでいます。皆さんは福祉用具と聞くと、車椅子や、杖・歩行器、介護ベッドなどを思い浮かべるのではないのでしょうか？  
実はこれらの福祉用具の中に、もう少し身の回り動作に密着した「自助具」（生活補助具）という物があります。  
今回は、「Self help device (セルフヘルプデバイス)」＝「自らを助ける道具」といわれている「自助具」についてご紹介させていただきます。

腕の切断など、日常生活を送る事が難しくなった方のために制作されました。時間がかかってしまったり、人に助けってもらっていた身の回り動作を、少しでも楽に自立して行えるよう、工夫や改良が加えられた「生活を補助する道具」です。体が不自由な方の生活に密着した道具ですから、容易に取り扱える大きさと、単純な操作で利用できる配慮がされています。  
これらの自助具は福祉用具の販売店などで販売していますが、食事、整容、更衣、調理、掃除、趣味活動など様々な応用動作場面で使われるため、より個性性が求められます。一人ひとりに適した自助具を選ぶことが重要です。



金子 千恵子

勝 佑実子

斎藤 美友紀

リハビリテーション技術部 作業療法士

済生会横浜市南部病院では、患者さんの健康と安心を、地域連携登録医及び病院の医師が、一緒に見守っていきます。

金沢区 医療法人社団 にしうら会 たかさき内科

循環器内科 腎臓内科 内分泌代謝内科  
内科一般 (呼吸器内科、消化器内科、神経内科)

当院は、京浜急行「京浜富岡駅」徒歩1分の内科専門クリニックです。内科全般に対応していますが、院長はじめ担当医全員が循環器内科専門医であり高血圧、心臓病などの循環器内科領域に専門性の高いクリニックです。さらに、精密検査が必要な場合は、大学病院や南部病院などの連携病院へスムーズにご紹介しています。また、ご受診の際は、お電話にてご予約をお取りいただき、ご来院くださいますようお願いいたします。



院長  
たかさき いずみ  
高崎 泉先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00 (院長)	○	○	○	○	○	○	/
13:00~16:00 (横浜市大 循環器医師)	○	○	○	○	○	/	/
16:00~19:00 (院長)	○	○	/	/	○	/	/

※昼休みなし  
※休診日 日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)、夏季休暇(8/11~8/15)

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西 2-3-1 野本ビル 1階 ☎ 045-773-8001  
URL www.takasaki-naika.com

磯子区 医療法人社団 一洋会 H.E.Cサイエンスクリニック

内科・糖尿病内科

当院は、平成6年にJR根岸線「洋光台駅」より3分の場所に開院以来、一般内科及び糖尿病の総合的診断や治療を中心に診療を行っているクリニックです。糖尿病専門医4名を中心に、多職種によるチーム医療体制を整え、糖尿病療養指導士による看護指導、薬剤指導、栄養指導、運動指導なども取り入れ患者さんの重症化・合併症予防に力を入れています。なお、患者さんの交流や運動実技や調理実習の行える研修センターを設置、薬局は院内で行っています。



(右から)  
しんべ しんいちろう  
副院長 調進一郎先生  
ひら お こういち  
理事長 平尾 紘一先生  
まえ だ はじめ  
院長 前田 一先生  
くまくら あつし  
医局員 熊倉 淳先生



診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	/
15:00~17:00 (予約のみ)	○	○	/	/	○	/	/
17:00~18:30	○	○	/	/	○	/	/

※夏季、年末年始は休診です。  
ホームページお知らせにてご確認ください。

〒235-0045 横浜市磯子区洋光台 4-1-4-102 ☎ 045-831-0031  
URL http://www.hecsc.net

「がん情報コーナー」がオープンしました!



当院では、昨年4月に神奈川県がん診療連携指定病院の認定を受け、がんの患者さんやご家族へのサポート体制の充実に取り組んでまいりました。今回はそのひとつ、「がん情報コーナー」をご紹介します。  
「がん情報コーナー」は病院の西玄関(港南台駅側)前のMR棟1階にあり、がんの基本的な知識や各種がんの治療だけではなく、緩和ケアやご家族向けのものなどが関連したさまざまな情報を集めた冊子や図書を設置し、どなたでも自由にご覧いただけるようになっていきます。どうぞお気軽にご利用ください。



がん看護専門看護師 嶋中ますみ

『皆さまの声』をご紹介します!

南部病院では当院をご利用いただく皆様の声を活かし、利用しやすく過ごしやすい病院を目指しております。貴重なご意見の中から今回は次の2件をご紹介します。

**Q** いつも車で南部病院に通院していますが、朝の混雑時は駐車場に入れずに待つこともよくあります。そこで駐車スペースの確保について提案です。今ある芝生や植木などの緑地をもう少し減らして、駐車場を拡充させてはいかがでしょうか?

**A** ご意見ありがとうございます。ご指摘の通り、午前10時頃の駐車場は大変混み合っており、ご利用の度に不便をおかけしております。駐車スペースの確保に伴う緑地部分の活用につきましては、横浜市の条例によりこれ以上緑地面積を減らすことができません。ご理解をお願いいたします。駐車スペースの確保は、限られた中ではありますが今後も引き続き検討してまいります。

**Q** 娘が出産でお世話になりました。特に30時間に及ぶ陣痛の間付き添って下さった助産師さんの丁寧さ、熱心さには頭が下がりました。娘も喜んでおります。どうもありがとうございました。スタッフの皆様の笑顔に支えられました。

**A** この度は当院スタッフの対応にご満足頂けて幸いです。私たちも皆様の笑顔に励まされながら日々の業務にあたっております。当院は本年4月から横浜市の南部保健医療圏において産科拠点病院の指定を受けました。産婦人科医師2名による当直を実施するなど、夜間・休日等における救急患者の受け入れや、ハイリスク妊婦・周産期救急の対応を強化いたします。これからも皆様に頼って頂ける病院であり続けられるよう、受け入れ体制の更なる強化と地域連携の充実を目指し、スタッフ一同努力してまいります。

貴重なご意見ありがとうございました。  
CS・ES向上委員会

# Topics

## 南部病院看護 フェスティバル2014

看護の心をみんなの心に  
～安心して在宅へ～をアピール



6月12日(木)午前11時から午後5時まで港南台バース1階ドウ・ファッション広場で「南部病院看護フェスティバル 2014」が開催されました。

今年のフェスティバルは『看護の心をみんなの心に』～安心して在宅へ～のテーマで企画され、ミニ講座では福祉医療相談室の隅田室長が「みんなで学ぼう介護保険」の演題で介護保険の仕組みをわかりやすく説明しました。その後、介護関連施設の南部訪問看護ステーション、港南台地域ケアプラザの所長が地域の中での施設の役割を紹介し、会場に集まった方々はメモを取りながら真剣に耳を傾けておられました。

また、今田院長が「南部病院を知ってもらうために」と題して地域中核病院としての南部病院の役割について話し、最後に仲沢産婦人科主任部長が今年4月より南部保健医療圏で産科拠点病院に指定されたことと、産婦人科医療における当院の役割について講演を行いました。

パネル展示では南部病院と連携している地域診療所・クリニックの紹介、介護認定の手順などを写真やイラストを使って紹介しました。

## 日本医療機能評価 機構から更新認定

5月2日付で認定証が  
交付されました!

病院機能評価とは、第三者の機関(財団法人 日本医療機能評価機構)の審査を受け、一定の水準に達していると評価・認定がされるものです。

今後は、3年後の中間審査に向けて、更なる医療の質の向上とサービスの充実に努めてまいります。



### ★南部病院開催のイベント

お問い合わせ 経営企画課広報担当 TEL 045-832-1111(代)

**南部病院コンサート** 場所 南部病院1階待合ホール

**第136回 洋光台男声合唱団コンサート**

日時 8月2日(土) 午後2時～3時00分

出演 洋光台男声合唱団



洋光台男声合唱団

**第137回 サウンドオブジョイコンサート**

日時 9月20日(土) 午後2時～3時00分

出演 サウンドオブジョイのみなさん



サウンドオブジョイ

**第138回 そよ風大正琴コンサート**

日時 10月4日(土) 午後2時～3時00分

出演 そよ風大正琴グループのみなさん



そよ風大正琴

### ★港南台地域ケアプラザ開催のイベント

お問い合わせ TEL 045-834-3141

場所 港南台地域ケアプラザ 多目的ホール

**南部病院 健康教室「かゆみの原因いろいろ」**

日時 7月19日(土) 午後2時～3時30分

講師 南部病院皮膚科主任部長代行 高江 雄二郎 定員 事前申込 50人

### ★能見台地域ケアプラザ開催のイベント

お問い合わせ TEL 045-787-0991 場所 能見台地域ケアプラザ 多目的ホール

**薬・サプリメントの正しい基礎知識**

～くすりやサプリメントの基礎知識と上手な使い方などの紹介～

日時 7月30日(水) 午後2時30分～4時00分

講師 済生会若草病院 薬剤師 曾賀 泉

定員 事前申込 30人(当日参加可)

## イベント情報 7月・8月・9月

# Information

南部病院市民公開講座★整形外科に関する講演  
[テーマ] 健やかな生活を送るために

日時 9月6日(土) 午後2時～4時00分

場所 県立地球市民かながわプラザ(あーすぶらさ) 2階プラザホール

講演1 加齢による  
“せぼね”の病気

講師 南部病院整形外科  
部長 上田 誠司



講演2 足の痛みの  
原因を知る

講師 南部病院整形外科  
部長 水谷 憲生



定員 225人

申込方法 先着順:会場に直接ご来場ください

お問い合わせ 南部病院 地域医療連携室  
TEL 045-832-1111(代)

入場  
無料

## 編集後記

南部病院が平成18年に横浜市の小児救急拠点病院に指定されてから8年が経過し、小児医療がどのように変遷していったかを振り返り、少子化が進む中での今後の小児医療のあり方を甲斐小児科主任部長がまとめました。毎日児童虐待等のニュースを見聞きすると心が痛みます。まさにその領域まで小児科医がかかわっていく社会になったという事実を直視させられました。(T)